

いま君たちにいちばん、わかってほしいこと

－校長先生からのメッセージ－

やっとこの日が来ました。それでも完全ではありません。いまの形が学校の正常な形ではないことは1年生のみなさんにもわかると思います。しかし、前に進まなければなりません。学校の本来の存在意義である「学習」を取り戻さなければなりません。もちろん、君たちにとって学校とはそれだけではないことは先生たちもわかり過ぎるほどわかっているつもりです。でも、それも自分で制限しなければなりません。「自制・自粛」です。ソーシャルディスタンスという言葉はもちろん知っていると思います。それに従えば授業中に席を離して座っているのに、休み時間や通学途中に手をつなぐ、肩を組む、体をぶつけるなどという行為をしてはいけないのです。コロナ対策とはいえ、人間が長い歴史の中で獲得してきたコミュニケーションツールが使えないということなのです。コロナ対策が成功して生活が以前のようになるまでのしばらくの間、我慢しましょう。

さて、もう一つわかってほしいことがあります。いま、ネットや現実生活の中でコロナに感染した人への理由なき差別があります。また、命を削って奮闘してくれている医師や看護師などのいわゆる医療従事者とその家族に対する偏見やいじめの存在もクローズアップされています。感染した人に対してはなぜ感染したかを責めるのではなく、本来は治療して退院したことをともに喜ばなければいけないはずです。それは、いつ自分が感染するかもしれないと想像すればわかるはずです。医療従事者に対して偏見を持つ人に聞いてみたいと思います。「じゃあ、あなたは新型コロナウイルスに感染しても病院に行って治療をしてもらわないのですね？」と。

もうわかってくれたかと思います。未知のコロナウイルスに対しては誰もが怖いのです。だからといって、それで他の人を攻撃していいはずがありません。中学生になった君たちが冷静に考えて行動すれば社会は変わります。今の社会状況は決して正常とは言い難いと校長先生は感じています。コロナ後の世界は大きく変わるという人もいます。しかしながら、「変わらなければならないところ」と「変えてはいけないところ」があると思います。そんな未来をつくるのは君たちです。そういう意味で「かしこいおとな」になっていってください。